

2020年1月吉日

健保だより 43

新電元工業健康保険組合
理事長 白羽 真

新年あけましておめでとうございます。

被保険者並びにご家族の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、当健康保険組合の事業運営に対し、日頃より格別のご理解とご協力をいただき心より御礼申し上げます。

昨年はラグビーで日本中が盛り上がりました、今年は東京オリンピック・パラリンピックの開催を、皆様も胸を躍らせて待ち望んでおられることとお察し致します。

さて、健康保険組合を取り巻く環境は、高齢化や高額薬剤の登場などによる医療費の増加を背景に厳しい状況が続いています。全国の健康保険組合で保険料率の引き上げを実施せざるを得ず、現役世代の負担は膨らみ続けています。

2022年以降は、団塊の世代が後期高齢者へ移行することから、健康保険組合が拠出する後期高齢者支援金が急増し、更なる保険料負担の上昇が危惧されています。

一方、少子高齢化により社会保障の支え手が減少するなか、健康保険組合には健康寿命の延伸と医療費の増加抑制を担う役割がより一層強く求められています。

当健康保険組合といたしましても、コラボヘルスを推進し、データ分析に基づいた効果的かつ効率的な保健事業やアプローチを実施し、皆様の健康維持、増進のサポートをして参ります。

オリンピック・パラリンピックの年でスポーツへの関心も高まります。皆様におかれましては、日々の生活に運動習慣を取り入れ、健康にご留意いただきますと共に、健康寿命の延伸に繋げていただければと存じます。

最後になりますが、本年が皆様にとって幸多き一年となることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

以 上